

# 令和7年度オレンジこども園の自己評価

| 1、教育・保育理念・保育観  |   | 評価 | 評価の根拠・改善方法   |
|----------------|---|----|--|
| 1              | 保育教諭一人一人が、オレンジこども園の保育理念・教育・保育方針を理解している。           | 3  | 経験の浅い職員が仲間に加わり、もう一度理念・方針を丁寧に伝える必要がある                                       |
| 2              | オレンジこども園の教育・保育方針を理解して教育・保育計画が立てられている。             | 3  | 計画的な活動が実践されつつあるが、各種計画を生かし切れていない部分が散見される。                                   |
| 3              | 常に教育・保育方針や保育観を確認できるような機会を作っている。                   | 4  | 園内研修やリーダー会中堅会の中で、意見交換するようにしている。  |
| 4              | 一人一人の主体性を大切に保育をしている。                              | 4  | 子どもの遊びが確立できるよう遊びを選択できるよう環境構成を工夫し、遊びの充実を図っている                               |
| 5              | 保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。                         | 4  | 保育参観・参加行事等を通じ共感出来るよう配慮した。特に、未満児は次年度に向けた懇談会で深めることが出来た。                      |
| 2、教育・保育計画・指導計画 |   |    |  |
| 1              | 教育・保育方針の、ねらい及び内容が達成できるような全体的な計画や教育・保育計画を立てている     | 3  | 制度変更等に合わせて計画の見直し等をおこなったが、細部までの理解には至っていない                                   |
| 2              | 教育・保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して年間計画、月案、週案を立てている  | 4  | ドキュメンテーションを用いて個別の発達特性について共有し活動計画へ反映させた。                                    |
| 3              | 現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた教育・保育計画を立てている。            | 4  | ICTを活用して個別の発達特性について共有し活動計画へ反映させた。  |
| 4              | 配慮の必要な子には、その子に応じた教育・保育計画を立てている。                   | 4  | 特別支援を必要とする子は個別支援計画を作成し対応し、発達の気になる子に対して年間を通して会議を繰り返し対応できた。                  |
| 3、食育について       |   |    |  |
| 1              | 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。                  | 3  | 楽しい食事を目指し、給食クイズなどで食への興味を広げた。また、食事に時間差をつけ意欲をひき出した。クッキングなど実際に触れる機会を増やすよう検討する |
| 2              | 調理士、保育教諭等が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている。      | 4  | 毎月1回、給食会議を開き、各年齢の給食状況や食育活動の様子など意見交換をしている                                   |
| 3              | 出来るだけ地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。           | 4  | 地元の青果店から食材を取り入れ、また子ども達が植栽した野菜なども活用している                                     |
| 4              | 給食やおやつは手作りをしている。                                  | 4  | 自園調理を行っている   |
| 4、職員について       |   |    |  |
| 1              | 職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営が出来ている。                | 4  | 主幹が中心となって役割分掌・業務分担表作成し、担当以外にも全員が参加できるよう連携を取っている                            |
| 2              | 危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が出来ている。                      | 4  | 全体研修で、危機管理マニュアルを読み合わせマニュアルの見直しを行った   |
| 3              | 職員が割り当てられた業務分担を把握し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。 | 4  | 役割分担された業務を行い、企画書や報告書を提出している  |
| 4              | 園内研修と園外研修の計画を立てて実行している。                           | 4  | 年間研修計画を立てて実施している。リモート研修を多く取り入れ、多数の保育士が研修に参加した。                             |
| 5              | 施設整備や遊具等の安全点検を行っている。                              | 4  | 毎週環境整備の日をもうけ、多くの目で点検を行った。  |
| 5、保護者支援        |   |    |  |
| 1              | 保護者と良好な関係をつくろうとしている。                              | 4  | 園内へ入ることが多くなり、展示物や作品を見ながら園児の育ちについて共有できた。                                    |
| 2              | 園の保育内容や子どもの姿が分かるような発信をしている。                       | 4  | ICTを通じ日々の保育を配信し、活動の共有化を図った。  |
| 3              | 保護者の状況を理解し、個人情報の漏洩に気をつけている。                       | 5  | 園の重要事項説明の中で個人情報の取り扱いなどの了承を得て、漏洩に気をつけている                                    |
| 4              | 子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。               | 3  | 保護者の思いを理解するように、個人面談や電話聞き取りなどを行った   |
| 6、子育て支援        |   |    |  |
| 1              | 地域に開かれた、日々子育てをしている親子を受け入れている。                     | 4  | 今年度から外部の保育体験を再開し、入園希望者などの親子を受入れ情報の提供を行った。                                  |

|                       |                                     |   |   |
|-----------------------|-------------------------------------|---|---|
| 2                     | 地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。      | 4 | 保育体験に加え、近隣公園で親子で遊んでいる場面では積極的に声をかけ一緒に遊ぶ環境作りを行った  |
| 3                     | 子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。 | 3 | 年間最大4回の個人面談の機会を設け、家庭の様子、園での様子を共有し必要な助言。情報提供を行った |
| 4                     | 園生活の子どもの様子を地域にも発信している。              | 4 | HP上に園便り等を配信し、掲示板等に暮らす便りを掲示するなど情報発信を行った          |
| <b>7、小学校や地域社会との連携</b> |                                     |   |   |
| 1                     | 定期的に小学校と交流を行っている。                   | 4 | 合同研修会や金城こども園と一緒に交流を図った                          |
| 2                     | 定期的に小学校やこども園との会議や職員交流を行っている。        | 4 | 1年生担当教諭との意見交換にとどめた。                             |
| 3                     | 高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。     | 4 | デイサービスや社協など数回の交流がもてた。                           |

4:よくできた 3:できた 2:一部改善が必要 1:改善しなければならない

こども園の自己評価 平均 3.828 点

## 園全体の評価

全体会議やリーダー会などを通じ理念・方針に基づいた教育・保育活動が展開できているが、更に効率的に行えるよう経験の浅い職員が理解しやすいようなシステム作りを工夫する。  
職員の充実を図り、役割分担を明確にすることで、配置が安定しているところからより組織的な活動ができるようになった。  
行事への取り組み方を工夫しことで、職員の負担軽減に繋がり、更に園児の主体的な活動を捉えた環境設定が各職員の工夫によって展開されるようになった。  
また、保護者参加行事を多く取り入れる事により、保護者にこども園の教育・保育の理解をしていただく機会を多く設けることが出来た。

乳児クラスのデーリープログラムの見直しを行い、ピークの時間を出来るだけ作らないことで園児・職員ともにゆったりとした雰囲気でも過ごす事が出来た

小学校との接続に関して、姉妹園と連携し小学校接続に関する行事への参加を重ね、スムーズに行うことが出来た。

地域に関して、子育て応援DAYが再開し、近隣の親子の受入れ保育体験を実施することで、1号認定児家庭が多く利用したと感じる。未満児の利用が多いことも有り発達や育児の情報についてより多くの発信が必要だと感じる。また、民生員や老健施設との連携がとれるようになりふれあう機会がもてた。